

団体名

乗鞍トレイルクラブ

実施内容

乗鞍高原内のトレイル・散策路である「NORIKURA KOGEN TRAILS」の魅力や自然保護の重要性をさまざまな角度から発信するZINE（冊子）を作成した。具体的な内容は以下の通り。

- ・ トレイルに関わる地元関係者13名にインタビューを行い、活動紹介と活動にまつわる記事やコラムを作成
- ・ 外から関わる方（地域外の方）5名にアンケートを取り、インタビューコラムを作成
- ・ 生き物や温泉の情報、飲食店のリスト、トレイルマップ、年間イベントなどの観光情報も掲載

目的

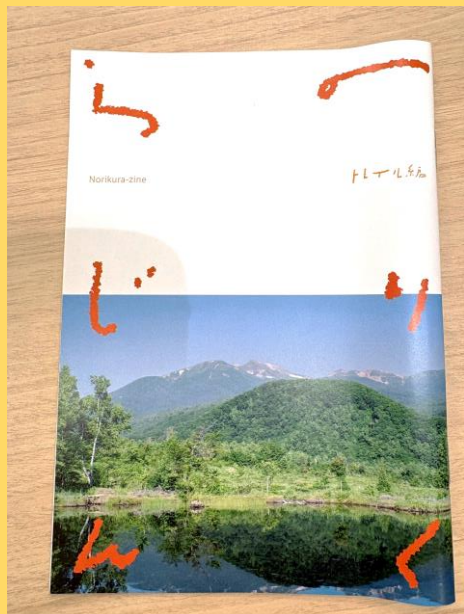
乗鞍高原は古くから地域住民が暮らしを営むエリアでありながら、高原特有の亜高山帯の気候を好む、稀少な生きものたちが生息するエリアで、中部山岳国立公園にも指定されており、自然環境の維持と観光産業の両立を地域一体となって目指している。乗鞍エリアを訪れる人は日本百名山である乗鞍岳に集中しており、乗鞍高原はマイカーからシャトルバスへの乗り換え拠点として通過している方が多いという現状があり、乗鞍高原の魅力発信や滞在促進をさらに進める必要がある。そこで、高原内の散策路である「NORIKURA KOGEN TRAILS」の魅力発信を行うことで、乗鞍岳に集中している観光客の分散や高原内の滞在を促進し、自然環境の負荷低減と地域経済の活性化を図るのが本事業の目的である。

効果

本年度は、ものとして残り、手にした人の印象に残りやすいZINEを制作した。ZINEでは、トレイルの歴史・背景や、トレイル整備・草原再生・外来種駆除等の活動を伝えることで、高原内の魅力や自然保護の重要性を発信する。ZINEをきっかけにNORIKURA KOGEN TRAILSを歩く人が増えることで、乗鞍エリアの訪問客の滞在日数が増加し、地域経済の活性化を図る。3月22日の報告会（チャレンジ×探求フェア）では約20名の方がブースに来て、ZINEの完成原稿を読んだり、我々のトレイルの話の聞いたりしていた。その中には、「今年のグリーンシーズンに友人を誘って乗鞍に行きたい」と話していた方もいて、ZINEをきっかけにNORIKURA KOGEN TRAILSを歩く方が増えていくことが想定される。

今後の課題

本年度は入稿データの作成と、関係者向けのテスト冊子制作まで完了した。来年度以降は、販売用の冊子の制作を行い、県内外の書店やイベントで販売し、トレイルの認知拡大・観光流入の増加を目指したい。



事業実施経過

年月	実施事項
令和7年9月25日	メンバーでオンライン打合せ（ZINEの構成や台割）
令和7年10月30日	メンバーでオンライン打合せ （インタビュー相手、役割分担、スケジュール）
令和7年11月25日	メンバーでオンライン打合せ（インタビュー内容・文体）
令和7年12月2日	メンバーでオンライン打合せ （インタビュースケジュール調整、デザイン）
令和7年12月9日	乗鞍高原で地元関係者4名に個別インタビュー
令和7年12月10日	乗鞍高原で地元関係者2名に個別インタビュー
令和7年12月12日	乗鞍高原で地元関係者3名に個別インタビュー
令和7年12月18日	メンバーでオンライン打合せ（外部アンケート内容、デザイン詳細）
令和8年1月8日	有識者1名と地元関係者1名に個別インタビュー
令和8年1月20日	メンバーでオンライン打合せ（原稿・デザインチェック）
令和8年2月10日	地元関係者2名に個別インタビュー メンバーで打合せ（原稿・デザインチェック）
令和8年3月1日	メンバーでオンライン打合せ（原稿・デザインチェック）
令和8年3月22日	発表会（チャレンジ×探求フェア）で発表
令和8年3月24日	メンバーでオンライン打合せ（最終確認）
令和8年3月29日	入稿完了（テスト冊子製作完了）